



No.5
春号

パナソニック健康保険組合
■松下記念病院
〒570-8540 大阪府守口市外島町5番55号



14650004(01)

JISQ15001:2006準拠

CONTENTS

診療科紹介

こちら、血液科です。

手術部の紹介

電子カルテシステム導入のお知らせ

病院ボランティアが誕生しました!

治験事務局からのお知らせ

脱メタボシリーズ 第2弾

「お酒」と「おつまみ」上手に選んでマイナス240kcal!

地域医療ネットワークです!!

希望を持って共に歩んでいきましょう



診療指針

血液科は、貧血や血小板減少などの良性疾患から白血病や悪性リンパ腫などの造血器腫瘍まで血液疾患全般を診療する科です。当科は日本血液学会認定研修施設であり、完全無菌室2床、準無菌室3床を備え、日本さい帯血バンクネットワーク移植医療機関診療科に登録され、造血幹細胞移植にも積極的に取り組んでいます。また、日本成人白血病研究グループの多施設臨床研究や新規薬剤の臨床試験に参画し、最新の医療を提供できる体制を整えています。一方で、患者さんやそのご家族それぞれの生活の質(quality of life)が決して失われることがないよう心がけています。

治療方針

白血病、悪性リンパ腫や多発性骨髄腫など血液腫瘍に対する医療は近年著しい進歩を遂げ、いわゆる不治の病であるという時代はもはや過ぎ去りました。我々医師、看護師その他すべての病院職員は妥協することなく最新、最善の医療を絶えず追求し、治療や看護に臨みたいと考えています。今何が最も大切な患者さんやご家族と共に考え、病気と対戦したいと思っています。治療は決して易しいものではありませんが、希望を決して失わずに共に歩んでいきましょう。

診療実績

2007年度の主な新規入院患者さんは、急性骨髓性白血病16例、急性リンパ性白血病3例、慢性白血病4例、悪性リンパ腫31例、多発性骨髄腫11例、骨髄異形性症候群10例、再生不良性貧血2例などでした。また同種造血幹細胞移植を2000年2月より2008年12月までに42例実施し、自己末梢血幹細胞移植も22例実施しています。2008年の骨髄検査の実施件数は年間504例でした。

スタッフ紹介

魚嶋 伸彦(うおしま のぶひこ)

内科専門医・指導医／血液専門医・指導医／
がん治療専門医

この病院に来て良かった、この医者に会えてよかったです、そう言っていただける医療を実践したいといつも思っています。

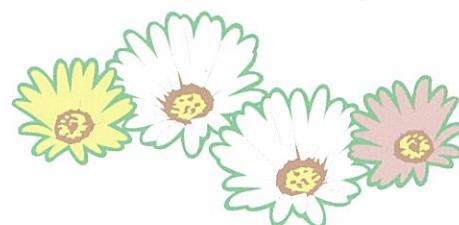
上辻 由里(かみつじ ゆり)

内科認定医／血液専門医

血液疾患は厳しい状態の患者様が多く、長い時間をかけて病気と向き合っていくことが必要になります。そういう時期を一緒に過ごし、患者様が笑顔になられる姿を見るのが、私にとって何にも代え難い喜びです。たくさんの患者様とそのような喜びを分かち合いたいと思っています。

南野 智(なんの さとる)

血液疾患は治癒を目指せる病気ですが、入院期間が長かったり、抗癌剤の副作用や合併症に悩まされたりなど患者様や患者様の周囲の方にとってストレスがかかるつらい病気でもあります。患者様が前向きに病気に向きあうことができるように、患者様が治癒できるようにお手伝いさせていただきたいと考えています。



手術部の紹介

安心して手術を受けていただくために…

患者様間違いや手術部位の間違いを防ぐために

- 1) バーコードの付いたリストバンド(手首に巻きます)による確認
- 2) 手術室入室時に、担当看護師・主治医による確認
※担当看護師は、**手術の前日に病室訪問**を行っています
- 3) 手術部位の左右の間違いを防止するために印を付けたり、カラーバンドを着用し確認など、何重にもチェックすることで間違いを防止しています。

24時間

緊急手術にも
対応しています
術前検討会など医師との
連携を重視しています



男性看護師が
3名います!



患者様の好きな音楽
を流してリラックス♪
していただけます

コメント：緊張感の高い職場ですが、少しでも患者様に
安らぎを感じていただけるよう、笑顔とコミュニケーション
の良い職場作りを目指しています。

松下記念病院 手術部の概要

【主要診療科】 外科、整形外科、産婦人科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科、小児科、腎不全科、皮膚科など

【手術室数】 6室(バイオクリーンルーム1室を含む)

【2008年手術実績】

総手術件数:3381件 (内、緊急手術:252件)

【手術室専属スタッフ】

看護師:20名、クラーク:1名、清掃、器械洗浄・滅菌担当:7名

当院における主要手術の紹介

2007年度(2007年4月～2008年3月)実績

【外科】

胃癌手術	55件
大腸癌手術	89件
乳癌手術	94件
胆石手術	79件
ヘルニア手術	103件

【整形外科】

人工関節手術	58件
脊椎手術	159件
手の手術	106件
関節鏡手術	36件

【泌尿器科】

前立腺癌手術(開腹)	14件
膀胱癌手術(開腹)	3件
膀胱癌手術(内視鏡下)	71件
腹腔鏡下腎・副腎手術	10件

【耳鼻科】

耳の手術	80件
鼻の手術	102件
頭頸部の手術	25件

【眼科】

白内障手術	730件
斜視手術	32件
硝子体手術	17件

【産婦人科】

帝王切開術	281件
子宮悪性腫瘍手術	14件
卵巣悪性腫瘍手術	29件

電子カルテシステム 導入のお知らせ

当院では、平成21年1月1日より電子カルテシステムを導入しております。

新システム稼動により、患者様により一層の円滑なご受診をしていただけますよう、職員一同努力してまいります。

よろしくお願ひいたします。



病院ボランティアが誕生しました!

松下記念病院・はーとぴあ(松下介護老人保健施設)では、ボランティアの皆様の温かい気持ちと貴重なお時間を提供して頂き、地域に開かれた病院として、より行き届いた患者様・利用者様サービスを提供できることを目指しています。

昨年10月よりボランティア募集を始め、4棟病棟(小児科)で絵本の読み聞かせをしてくれるボランティアが誕生しました。

12月26日ブレイルームに集まった入院中の子供たちは、優しい笑顔のお姉さんボランティアと絵本を読み、楽しいひとときを過ごしました。

病院・はーとぴあに新鮮な風を吹き込み、患者様の細やかなニーズに応えてくれるボランティアの皆様をこれからも応援していきます。今後は、外来患者様の受診援助などの活動を考えております。



病院・はーとぴあボランティアに関するお問い合わせは、

看護部 ボランティアコーディネーター
大森看護師まで

TEL: (06)-6992-1231(代)

※写真掲載についてはご了解を頂いています

治験事務局

からのお知らせ

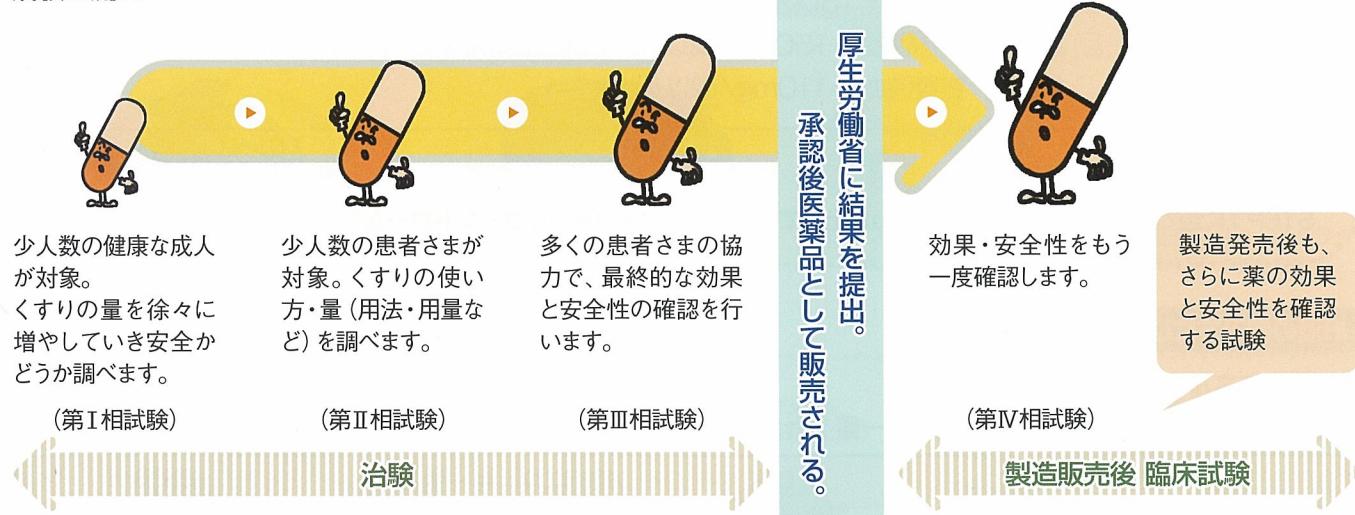
病気で苦しんでいる多くの患者さまが、より良いくすりの誕生を待ち望んでおられます。新しい薬を世の中に送り出すために必要なのが『治験』です。松下記念病院では2000年4月に“治験事務局”を設置し、専任の薬剤師や看護師を配置させ治験業務に取り組んでいます。当事務局では、治験をはじめとした試験が円滑に実施できるよう体制を整備し、安心して患者さまに参加していただけるよう支援していきたいと考えております。

『治験』は、患者さまをはじめみなさまのご協力が必要です。安心して受けただくために、今回は治験の流れとルールについてご説明します。

治験とは何か・・・

開発中のくすりを実際に使用して、その過程で実際に人の病気を治すのに役立つかどうか、調べる必要があります。このような、人で有効性(効き目)と安全性(副作用など)を確認して医薬品としての製造や販売などの許可を得るために行う試験のことを臨床試験と言い、その中でも厚生労働省から薬と認めてもらうために行う臨床試験を「治験」と言います。

治験の流れ



治験を行うときのルール

治験では、「くすりの候補」を人に使うことになるため、治験に参加していただく方の人権や安全が最大限に守られなければなりません。そのため、厚生労働省が定めたルール(「医薬品の臨床試験の実施に関する基準」(GCP: Good Clinical Practice))と国際的なルールに従って厳格に行われることが決まっており、ルールに違反した治験に基づくデータは、医薬品としての許可を受けるための審査に、使用することは許されていません。このルールに基づいて、製薬会社も病院も治験を行っていますので、ご安心ください。

治験についてのご興味をもたれている方、また、ご質問等ございましたら、
下記治験事務局までお問い合わせください。

治験事務局 TEL:(06)-6992-1231(代表)



現在公募中の治験につきましては、各診療科や院内掲示板のポスター、病院ホームページでご案内しております。

2008年4月より“メタボリックシンドローム”的予防・改善を目的とした「特定健診・特定保健指導」が開始されました。
4回にわたり【脱メタボ】シリーズをお送りします。



メタボシリーズ

第2弾

「お酒」と「おつまみ」 上手に選んで マイナス240kcal!



前号では、「体重1kgを1ヶ月かけて減らすには1日に240kcalのエネルギー量を減らす必要がある」ことを紹介しました。今回は、ひと工夫を加えたお酒の飲み方とおつまみの選び方を紹介します。上手に選んで脱メタボをめざしましょう！



あなたはメタボ?
[診断基準]でチェック！

体重

kg 腹囲

cm

STEP
1

おへそ周り(腹囲)

- 男性：85cm以上
- 女性：90cm以上



STEP
2

- 血圧：収縮期血圧 130mmHg 以上または拡張期血圧 85mmHg 以上
- 血中脂質：中性脂肪 150mg/dl以上またはHDLコレステロール 40mg/dl未満
- 血糖値：空腹時血糖 110mg/dl以上



STEP1に当てはまり、STEP2のうち2つ以上当てはまつたら、“メタボリックシンドローム”です！1つなら予備群です！

お酒の飲み方にひと工夫

■お酒のエネルギー量をチェック！

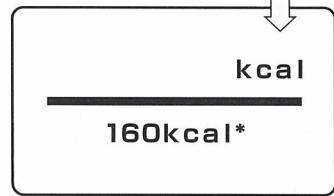
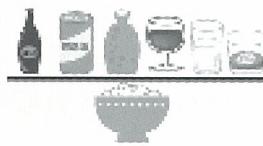
①普段飲んでいる1日のお酒のエネルギー量を計算してみましょう。

主なお酒の種類	飲量	エネルギー量	=小計
ビール(中ビン・1本=500ml)	本	×200kcal	=
発泡酒(1缶=350ml)	缶	×157kcal	=
日本酒(1合=180ml)	合	×185kcal	=
ワイン(グラス・1杯=100ml)	杯	×73kcal	=
焼酎(25度)(1合=180ml)	合	×262kcal	=
ウイスキー(グラス・1杯=60ml)	杯	×142kcal	=

②普段飲んでいるお酒のエネルギー量を「ご飯」に換算してみましょう

合計 kcal

何杯のご飯を食べていたことになりましたか？



1日のお酒の適量は、純アルコール120g(160kcal)です。

*160kcal=ご飯茶碗軽く1杯(100g)

■お酒とつきあうポイント

適量をこころがけた飲み方は内臓脂肪の蓄積防止のみならず、肝機能への負担軽減などにもなります。お酒の席が多くなる季節は、お酒と上手に付き合うことが大切です。

①自分のペースで飲む



②食べながら飲む



③週に2日は休肝日



④強いお酒は薄める



焼酎1合=262kcal
湯割り1本=131kcal

おつまみの選び方にひと工夫

お酒のおつまみといえば、天ぷらやフライ、唐揚げ、フライドポテト等、高エネルギーのものを想像する人も少なくないでしょう。お酒を飲むことで胃液の分泌が促進されて食欲が増してくるため、ついつい食べ過ぎてしまします。上手に選んで、エネルギーの摂り過ぎを防止しましょう。

■選ぶポイント

- ・脂質や塩分が控えめのもの
- ・低エネルギーで良質なたんぱく質を含むもの
- ・ビタミンやミネラル類を補えるもの

■おすすめおつまみ

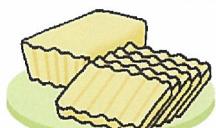
魚料理、豆類や野菜、乳製品、などがおすすめです。



・刺身: まぐろ40g+たい30g+いか50g
(53+47+76kcal=176kcal)



・枝豆30g+ささ50g
(37kcal)



・プロセスチーズ5枚50g
(170kcal)



・野菜のスティックサラダ
100g(36kcal)

■こんなにエネルギーだwon!

あじのフライ
70g(240kcal)



ぶりの照り焼き
100g(341kcal)



揚げ出し豆腐
150g(234kcal)



なすの田楽
70g(100kcal)



焼きとり手羽・塩
60g(142kcal)



春巻き
2個(370kcal)



あじの塩焼き
70g(85kcal)



さわらの照り焼き
100g(221kcal)



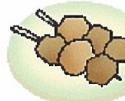
冷奴
150g(115kcal)



焼きなす
70g(18kcal)



胸肉の焼きとり・塩
60g(66kcal)



焼きギョーザ
5個(234kcal)



155kcalダウン!

120kcalダウン!

119kcalダウン!

82kcalダウン!

76kcalダウン!

136kcalダウン!

(注: 数値は目安です)

ちょっとしたこころがけで、おつまみのエネルギーを減らすことができます。

また、タンパク質やビタミン、ミネラル類などの栄養補給と栄養バランスを工夫して、お酒の席を楽しく過ごしましょう。

地域医療ネットワークです!!

これで安心!



～かかりつけ医を持ち、紹介状を持参して受診しましょう～

松下記念病院は急性期病院として、検査・治療・手術の患者さまを中心に専門的な治療を行っています。現在、厚生労働省は医療連携を推進しており、当院におきましても病院と病院、病院と診療所など、医療機関がお互いの特性を活かして協力し合い、患者さまが安心して治療を受けていただける体制作りを行っています。

なおこの制度は、病院と診療所との機能を分けるため、病院へは紹介状を持参して受診するように設けられているものです。かかりつけ医からの紹介状があれば、初診時にかかる『保険外併用療養費』は免除されます。

『保険外併用療養費』とは・・・

初診の際、他の医療機関から紹介状持参なしに、200床以上の病院を受診された場合に、初診料とは別にかかる費用のことです。(当院では4,200円)

病院へは他の医療機関からの紹介状を持参して受診するように勧められています。

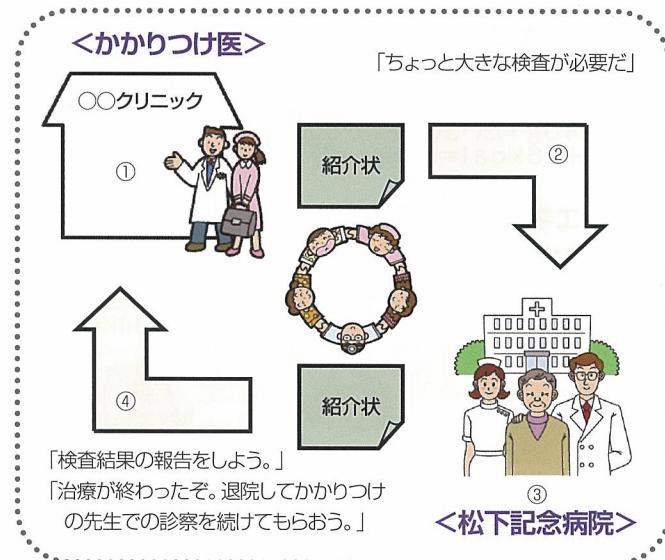
かかりつけ医からの紹介状があれば、免除されます。

■医療連携ってなあに??

日常での健康管理は地域のかかりつけ医で治療を行い、病院での専門的な検査や入院での治療が必要な場合には、かかりつけ医から病院に紹介されます。

紹介時には、かかりつけ医からの紹介状から患者さまの状態を把握し、診察予約や検査や治療がスムーズに行えるようになります。よって、患者さまの負担が最小限で済みます。

病院での検査や治療が終わりましたら、今度は、病院の医師から患者さまの受診結果や今後の治療についてかかりつけ医へ報告されます。患者さまはかかりつけ医へ戻り、継続した治療を受けることができます。



病院は「検査」「入院」や、専門の治療をするところなのね。

普段の診察はかかりつけの先生に診てもらいましょう。



普段はかかりていなくても「2人の主治医」で安心だね。
病院には『紹介状』を持って行こう。

お問い合わせ・ご意見等ございましたら、下記までご連絡ください。



発行 松下記念病院 広報委員会 〒570-8540 大阪府守口市外島町5番55号 TEL:06-6992-1231 FAX:06-6992-5808
<http://www.mhio.panasonic.co.jp/kinen/kinen.htm>